

「緊急事態宣言」解除 新型コロナ 第二波に備え要望書を提出

日本共産党千葉県議団（加藤英雄団長・みわ由美県議）は5月26日、「緊急事態宣言」の解除をうけ、新型コロナウイルス感染症の第二波に備えて検査・医療体制の強化を求める要望書を森田健作知事あてに提出しました。

< 主な要望項目 >

1. PCR検査センター増設や抗原・抗体検査などの導入
2. 医療機関への補償の拡充や、医療スタッフへの「特別手当」の支給
3. 健康福祉センター（保健所）や衛生研究所の抜本的な体制強化
4. 県独自の財源の確保



検査・医療機関のみなさま
ありがとうございます

県は、PCR検査センター増設、保健所臨時職員採用、特殊手当支給を明らかにしました

県は今後の対策として広範囲にPCR検査センターを10か所増設することや、この間、健康福祉センター（保健所）に臨時職員を採用したと述べました。

6月定例県議会に提案する補正予算では、新型コロナウイルス感染症に関わる職員への「特殊勤務手当」が計上されています。

これらは県議団が9回にわたり県に要望や緊急提案をしていた内容でもあります。

医療・検査体制の抜本的強化がカギ

県議団は、「第二波・三波に備え感染者用病床数の確保が必要」「感染者受け入れの医療機関だけでなく開業医へも支援し、医療崩壊を起こさない」ための施策を要望しました。「感染拡大防止と経済活動再開を両立させる最大のカギは、検査体制を抜本的に強化すること」と強調しました。

千葉県中小企業家同友会と懇談しました



千葉県中小企業家同友会との懇談
左から：加藤英雄団長・みわ由美県議・浅野ふみ子党副委員長【5月19日】



産婦人科の医師と懇談
左から：みわ由美県議・浅野ふみ子党副委員長【5月21日】

産婦人科の現状や妊婦などの新型コロナウイルスPCR検査について懇談しました